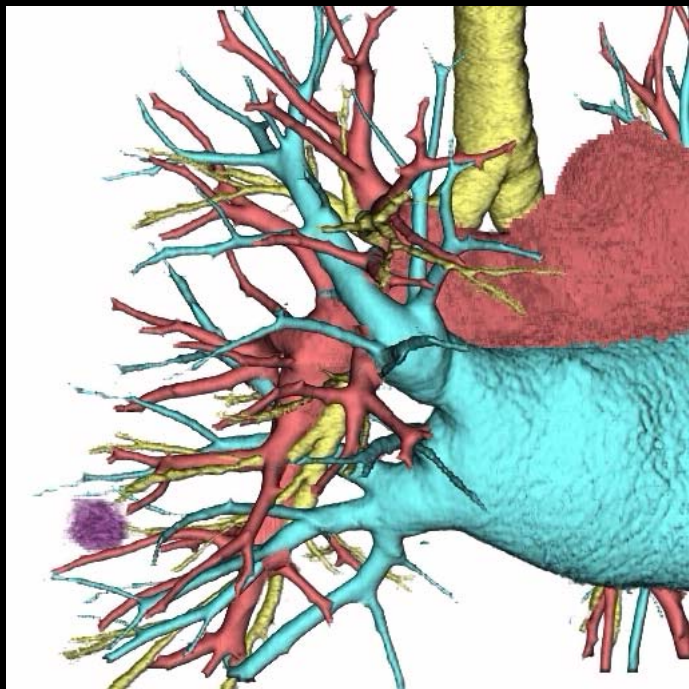


ONE Aquilion™ の胸部領域における最新情報

第38回断層映像研究会～Viewing More is Doing Better～

- 座長：山口大学大学院 医学系研究科 放射線医学分野
教授 松永 尚文先生
- 講演者：財団法人厚生会 地域医療支援病院 仙台厚生病院
森谷 浩史先生

「胸部領域における320列面検出器CTの最新臨床応用」



2009年10月10日(土)

12:00～12:30

米子コンベンションセンター

「Aquilion ONE™は真の動態CTであり、従来のCTとは次元が異なる」

仙台厚生病院 森谷先生

Volume scanの優位性

寝台移動なし



実効スライス厚が薄い

ヘリカルアーティファクトがない

時相が一致している

空間分解能が向上
(esp. HRCT, MPR
and 3D images)

画質の向上
モーションアーティファクト
の低減
(esp. pericardiac region)

位相の一致(0.35秒)
画質向上
(MPR and 3D images)
動きの観察

64 helical scan

320 volume scan

気管支壁の描出が明瞭である

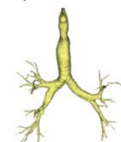
VATS術前肺動静脈画像



肺動脈相



肺静脈相



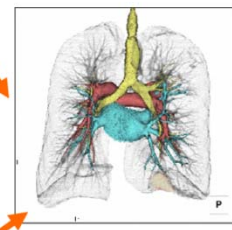
気管支樹(遅延相)



肺の広がり(遅延相)



腫瘍(遅延相)



肺門部 16cmの範囲を4相撮影(造影剤注入後、10秒-15秒-20秒-25秒)
120kV, 21mAs, 0.35sec/rot., 1mmx160, 4rot.

Clinical Advantage For Aquilion ONE™

- Volume Scan+0.35秒回転により、心臓近傍の肺野や葉間膜、気管支、気管支壁の描出が向上
- 従来と同等の撮影線量で撮影した場合には、アーチファクトが低減
- 動態検査では腫瘍の状態(胸壁・葉間膜の浸潤、癒着)の診断が可能
- 時相の一致したデータ(Isophasic)が得られるため、VATS術前検査のように見たい部分の情報を簡便に観察することが可能